

環境に係る情報協議会

国営緊急農地再編整備事業 旭東地区

1. 事業の概要(案)

◆事業の目的

本地区は、小区画、不整形及び排水不良なほ場が多く、効率的な農作業が行えない状況にある。また、農業者の高齢化や後継者不足により経営耕地の分散化が進行し、耕作放棄地が発生することが懸念されている。

このため、本事業により区画整理を行い、農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の発生防止による優良農地の確保を図り、農業振興を基幹とした総合的な地域活性化に資することを目的としている。

◆受益面積 3, 900ha

◆主要工事計画 区画整理：3, 900ha

2. 地域の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現状》

【旭 川 市】 石狩川・牛朱別川・忠別川・美瑛川の4大河川を中心とする大小の河川が流れており、これらの河川は市内を取り巻く緑豊かな丘陵地や大規模な公園、緑地等とともに緑の骨格を形成している。

【東神楽町】 河川沿いの平坦地とその周辺の丘陵地からなっており、豊かな水量を誇る忠別川をはじめとする多くの河川により豊かな自然環境や水辺空間を創出している。

《課題》

【旭 川 市】 多様な生物が生息・生育する水辺を保全するとともに、市街地周辺に広がる農地の保全を推進する必要がある

【東神楽町】 現存する動植物たちが今後も生息・生育できる自然・水辺環境の維持・保全に努める。

※旭川市、東神楽町田園環境整備マスタープランより

3. 環境配慮のための環境調査

◆環境保全の基本的な考え方

【旭 川 市】 農地が、多様な生物の生息・生育空間となるよう周囲の自然環境水辺環境の保全に努め、「豊かな水や緑とともに生きるまち」を目指す。

【東神楽町】 大雪山系をのぞむ豊かな田園景観、現存する動植物たちが今後も生息・生育していける自然環境・水辺環境の保全に努め、豊かな自然と調和したうるおいある環境空間を目指す。

◆基本方針

- ・ 事業により想定される、農地周辺の動植物や水質に対する影響を回避・軽減し、生態系への配慮をすすめるため下記の方針により調査を実施する。
- ・ 動植物の生息・生育状況を把握するための現地調査は、既往調査結果を活用しつつ、情報の追加が必要な位置及び時期について実施する。
- ・ 工事実施中における水質への影響の有無を確認するために、工事実施前のデータ収集として、地区内を流下する河川及び排水路で水質調査を実施する。

◆環境調査内容

○調査項目 ①哺乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生類・爬虫類
⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質

○調査方法 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法
鳥類：ポイントセンサス法、ラインセンサス法
魚類：採捕調査
両生・爬虫類：目撃法
昆虫類：任意採集法、ベイトトラップ法
ライトトラップ法
底生動物：定性採集調査
植物：植物相調査
水質：SS、濁度